

がんばれ！ ニッポン！

みなさまと デジタルドルフィンズをつなぐ 手づくり情報誌



月1回
お届けする
ラブレター♪



IT&教育事業部と、
デジタルドルフィンズ
応援団長のよしこちゃん
合作の新聞！

ありがとう新聞 Vol.146

2019年
3月号

徹底3S☆連載コラム ～儲けとツキを呼ぶ『3S』～ 第12回

3Sの定着化～その仕組みと工夫～

「3S活動を始めてはみたものの、なかなか社内で浸透しない」…というお悩みは多いかと思われます。今月号では、3S活動の定着化に成功し、従業員全員で一丸となって徹底3S活動に取り組む、株式会社ふじや物流センターさまの事例に基づいて、その6つの方法をご紹介します！みなさまの職場にお役立てください。



ふじや物流センターの手づく
りキャラクター「ふじりゅう
君」がめいめい「3S」を推進



①小さな活動でいいから、できる活動から始める

最初から大きなことはしません(出来ません)。まずは小さなところ・身の回りにあるもの(事務機の引き出し等)から始めます。広げていくのは、それがうまく進み始めてからです。無理せず、焦らず…ただし、着実に。3Sは地道な活動です。



Before



After

小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くための道です。

②戻しやすさ、取り出しやすさを考えて置場所・置き方を決める

モノの置場所や置き方は、人の動き・仕事の流れに着目して決めます。そのルールに則り、モノを探すことなく置いてある場所に行けばすぐに(10秒以内)に取り出せ、元に戻せる状態にします。



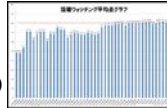
③ひと目で誰でも分かるようにするという意識

働く人全員が、いつでもすぐに必要なものを見つけられなければ整理整頓は成功していません。でも、置き場所や置き方が事細かく書いてあるマニュアルや説明書ではなく、その現場に行けば**全員がひと目(感覚)で分かるように**することが必要不可欠です。



④モノの必要性の変化を考慮する

モノの必要性や価値は常に同じではありません。職場の環境や状況は刻一刻と変わっています。それに伴い、モノの必要性や価値も変化します。その変化に応じて、モノの置場所や置き方も変えていかなければなりません。



⑤定期的に具体的な自己評価をする

3S活動を始めた頃は、少し改善させただけでも大きく変化したように感じられる為、やりがいを感じやすく、活動も自然と進んでいきます。が、ある程度活動が進んでくると大きな変化が感じられにくくなり、活動意欲の低下要因になってしまいます。そこで、定期的に確認が必要になってくるのです。それも曖昧なものではなく、**数字で表せる評価が重要**です。

⑥自分たちの手で作り、そして必ず遊びゴコロを入れる

3S活動は、出来る限り自分達の手で作り出すことが大切です。まず経費少ない。**そして【愛着】です**。世界に一つしかないものが生み出されるので「大切にしよう、愛そう」と、ものを大切にする心が芽生えます。遊びゴコロを入れたキャラクターやネーミングが入れば職場も明るくなります！

四国3Sネットワーク「公開例会」のお知らせ

3月26日(火)13時半より大阪市旭区にある、大阪工業大学に於いて、同・准教授の皆川健多郎先生による講義『原理・原則で考えるカイゼンセミナー(演習付き)』を開催いたします！先着8名さま参加可能となっております。<詳しくはこちらをクリック>

★展示会出展のお知らせ★

【名古屋】設計・製造ソリューション展(DMS名古屋)

2019年4月17日(水)～4月19日(金)

ポートメッセなごやにて開催 小間：第1展示館 19-27

【金沢】MEX金沢2019(第57回機械工業見本市金沢)

2019年5月16日(木)～5月18日(土)

石川県産業展示館(3・4号館)にて開催



この春も元気に
出展中♪



発行責任者：枚岡合金工具株式会社

IT&教育事業部 古芝保治

<http://www.digitaldolphins.jp>

アクセ
ン
して
ネ
ス



編集者：よしこちゃんの会社のブログ(HP)

<http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/43837>

